令和３年度　生田高等学校 年間指導計画

教科・科目	地理歴史・日本史B	学年	2年	教科書	山川出版社「詳説日本史B改訂版」
		単位数	4	副教材	帝国書院「図説日本史通覧」、自主作成教材

学習目標	我が国の歴史の展開を諸史料に基づき総合的に考察させ、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての資質と自覚を養う。
学習方法	・授業を中心としつつ、個々に文献史料や図表の読解をプロジェクタやタブレットPCなどのICT機器を効果的に利用しながら行い、生徒の主体的な思考力を引き出す。 ・世界史・地理との関連を意識しながら、多面的・多角的に考察させる。

学習評価

	評価の観点	科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	・日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について関心を持ち、歴史的思考力を培って国際社会に主体的に生きることに課題意識を持って、追究している。
b	思考・判断・表現	・日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について課題を見いだし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し、適切に表現する。
c	資料活用の技能	・日本の歴史の展開、文化と伝統の特色に関する文献、絵画、地図などの諸資料を活用することを通して、世界史的視野に立って考察する。
d	知識・理解	・日本の歴史の展開、文化と伝統の特色についての基本的な事柄を、政治・経済・社会・文化などの諸要素と関連付けて理解し、その知識を身につける。

学期	内容のまとまり	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1学期12週	第1章 日本文化のあけぼの 第2章 律令国家の形成 第3章 貴族政治と国風文化 第4章 中世社会の成立	24	○文化の始まり ○農耕社会の成立 ○古墳とヤマト政権 ○飛鳥の朝廷 ○律令国家への道 ○平城京の時代 ○天平文化 ○平安朝廷の形成	旧石器・縄文文化の時代の社会を理解する。 弥生文化の形成を考察する。 ヤマト政権成立過程を理解する。	○	○	○	◎	a: 日本文化、ヤマト政権、律令国家の形成、貴族政治、平安朝廷の形成について課題意識を高め、学習に意欲的に取り組んでいる。 b:日本文化、ヤマト政権、律令国家の形成、貴族政治、平安朝廷の形成について、世界史的視野に立って多面的・多角的な考察をしている。 c: 日本文化、ヤマト政権、律令国家の形成、貴族政治、平安朝廷の形成に関する資料を適切に選択・活用するとともに、その過程や結果を表現している。 d:日本文化、ヤマト政権、律令国家の形成、貴族政治、平安朝廷の形成について課題を考察する方法を理解し、必要な知識を身に付けている。ITC機器を活用し、基本的な事柄を、政治・経済・社会・文化などの諸要素と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	授業観察 小テスト 定期試験 口頭試問
				ヤマト政権成立過程を理解する。 飛鳥時代を考察する。	○	○	○	◎		
				律令体制の状況を多角的にとらえて考察する。	○	○	○	◎		
		24	○摂関政治 ○国風文化 ○地方政治の展開と武士 ○院政と平氏の台頭 ○鎌倉幕府の成立 ○武士の社会 ○蒙古襲来と幕府の衰退 ○鎌倉文化	摂関政治の成立過程及び影響を考察する。 国風文化の展開を考察する。	○	○	○	◎	a: 摂関政治・地方政治の展開、鎌倉幕府の成立などについて課題意識を高め、学習に意欲的に取り組んでいる。 b摂関政治・地方政治の展開、鎌倉幕府の成立などの課題に対し、世界史的視野に立って多面的・多角的な考察をしている。 c:摂関政治・地方政治の展開、鎌倉幕府の成立などに関する資料を適切に選択・活用するとともに、その過程や結果を表現している。 d:摂関政治・地方政治の展開、鎌倉幕府の成立などに関する課題を考察する方法を理解し、必要な知識を身に付けている。ITC機器を活用し、基本的な事柄を、政治・経済・社会・文化などの諸要素と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	授業観察 小テスト 定期試験 口頭試問
				公領支配の変質及び荘園拡大の経緯を考察する。 院政期の政治・社会・文化を理解する。	○	○	○	◎		
				鎌倉幕府が全国的な武家政権へ成長していく過程を理解する。	○	○	○	◎		
2学期14週	第5章 武家社会の成長 第6章 幕藩体制の確立 第7章 幕藩体制の展開第8章 幕藩体制の動揺	28	○室町幕府の成立 ○幕府の衰退と庶民の台頭 ○室町文化 ○戦国大名の登場 ○織豊政権 ○桃山文化 ○幕藩体制の成立 ○幕藩社会の構造 ○幕政の安定	庶民の台頭を踏まえ、中世社会の多様な展開を理解する。	○	○	○	◎	a: 室町幕府の成立や織豊政権・幕藩体制の成立などについて課題意識を高め、学習に意欲的に取り組んでいる。 b:室町幕府の成立や織豊政権・幕藩体制の成立などの課題に対し、世界史的視野に立って多面的・多角的な考察をしている。 c: 室町幕府の成立や織豊政権・幕藩体制の成立などに関する資料を適切に選択・活用するとともに、その過程や結果を表現している。 d:室町幕府の成立や織豊政権・幕藩体制の成立などに関する課題を考察する方法を理解し、必要な知識を身に付けている。ITC機器を活用し、基本的な事柄を、政治・経済・社会・文化などの諸要素と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	授業観察 小テスト 定期試験 口頭試問
				戦国大名や都市について、地理的条件と関連づけて理解する。	○	○	○	◎		
				幕藩体制確立期の経済・社会を多面的に考察する。	○	○	○	◎		
		28	○経済の発展 ○元禄文化 ○幕政の改革 ○宝暦・天明期の文化 ○幕府の衰退と近代への道 ○化政文化	江戸時代における農・商工業の発展について考察する。 元禄文化について考察する。	○	○	○	◎	a: 江戸時代の経済の発展、幕政改革、幕府の衰退と近代化などについて課題意識を高め、学習に意欲的に取り組んでいる。 b:江戸時代の経済の発展、幕政改革、幕府の衰退と近代化などの課題に対し、世界史的視野に立って多面的・多角的な考察をしている。 c: 江戸時代の経済の発展、幕政改革、幕府の衰退と近代化などに関する資料を適切に選択・活用するとともに、その過程や結果を表現している。 d:江戸時代の経済の発展、幕政改革、幕府の衰退と近代化などの課題を考察する方法を理解し、必要な知識を身に付けている。ITC機器を活用し、基本的な事柄を、政治・経済・社会・文化などの諸要素と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	授業観察 小テスト 定期試験 口頭試問
				幕藩体制の動揺と幕府・諸藩の改革の意義等について考察する。	○	○	○	◎		
				幕藩体制の動揺と幕府・諸藩の改革の意義等について考察する。	○	○	○	◎		
3学期9週	問題演習	36	政治史 文化史	個々の生徒の学習ニーズに対応した基礎・基本の復習、発展的学習	○	○	○	◎	a: 政治史・文化史について課題意識を高め、学習に意欲的に取り組んでいる。 b:課題に対し、世界史的視野に立って多面的・多角的な考察をしている。 c: 日本の歴史・文化と伝統の特色に関する資料を適切に選択・活用するとともに、その過程や結果を表現している。 d:課題を考察する方法を理解し、必要な知識を身に付けている。ITC機器を活用し、基本的な事柄を、政治・経済・社会・文化などの諸要素と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	授業観察 小テスト 定期試験 口頭試問
				個々の生徒の学習ニーズに対応した基礎・基本の復習、発展的学習	○	○	○	◎		
			社会経済史 外交史 外交史	個々の生徒の学習ニーズに対応した基礎・基本の復習、発展的学習	○	○	○	◎		
合計時数(50分授業)		140								